

lymphomatoid drug eruption

ベニジピン塩酸塩



81歳，女．高血圧，異型狭心症のため数種類の薬剤を使用中．2004年12月より鼠径部に紅斑を認め次第に拡大．翌年1月に近医皮膚科にてステロイド外用も改善せず．下腹部，上腕，大腿に数cm大

の楕円形の色素斑が多発．色調は褐色から橙色調であり，浸潤を触れるものもある．薬剤中止後に消褪し，再投与により同一の皮膚症状が再燃した．
(大川 毅：皮膚病診療 28：1309, 2006)